エネルギー・資源・素材のXを。
JX日鉱日石エネルギー株式会社

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 45599-1022E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ガスヒーポンクーラント

１．化学物質等及び会社情報

製品名：	ガスヒーポンクーラント
会社名：	JX日鉱日石エネルギー株式会社
住所：	〒１００－８１６２　東京都千代田区大手町二丁目６番３号
担当部門：	添付資料参照 (TEL:添付資料参照,FAX:添付資料参照)
緊急連絡電話番号：	添付資料参照

２．危険有害性の要約

特有の危険有害性： この商品は、記載の法令に該当しますので、該当する法令の内容を確認し取扱ってください。
危険物第4類　第3石油類(消防法　危険物)

GHS分類	区分
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	区分1
皮膚感作性	区分1
生殖毒性	区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1
水生環境有害性(急性)	区分3

GHSラベル要素

絵表示：

注意喚起語： 危険

危険有害性情報：
軽度の皮膚刺激
眼刺激
吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器(中枢神経系,腎臓,心臓,呼吸器)の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系,呼吸器,心臓)の障害
水生生物に有害

注意書き： 安全対策
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
眼に入れないこと。飲み込まないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

JX日鉱日石エネルギー株式会社

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 45599-1022E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ガスヒーポンクーラント

取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
環境への放出を避けること。
吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
保管 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
施錠して保管すること。
廃棄 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。
不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
成分及び含有量

成分名称	含有量 wt.%	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示番号	官報公示番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
エチレングリコール	90-99	---	既存	既存	安衛法通知物質-	非該当	非該当
安息香酸ナトリウム	0-2	---	既存	既存	非該当	非該当	非該当
水	0-6	---	既存	既存	非該当	非該当	非該当

４．応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹸水で洗う。
皮膚刺激または炎症等皮膚に異常が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合： 清浄な水で数分間注意深く洗う。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合： 水または牛乳を飲ませた後、直ちに吐きださせ、医者の診断を受けること。

エネルギー・資源・素材のXを。
JX日鉱日石エネルギー株式会社

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 45599-1022E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ガスヒーポンクーラント

５．火災時の措置

消火剤：	水、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、粉末、霧状の強化液
使ってはならない消火剤：	棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
特有の危険有害性：	加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法：	周囲の設備等に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。 大規模火災には、保護具を着用して水又は泡消火剤を使用して下さい。 小規模火災には、火元を遮断し、消火器を使用して消火して下さい。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	消火用器材を準備する。 作業の際には、保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。
封じ込め及び 浄化の方法及び機材：	少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。 大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、出来るだけ空容器に回収する。
二次災害の防止策：	漏出物の上をむやみに歩かない。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：	指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。 皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は保護具を着用する。 火気のある所では取扱わないこと。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
局所排気・全体換気：	室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。
注意事項：	火気厳禁
安全取扱注意事項：	容器を開ける時は、手を切る恐れがあるので、保護手袋を着用する。

保管

安全な保管条件：	直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 保管場所に施錠して保管することが望ましい。 温度40℃以上になる所に保管しないこと
安全な容器包装材料：	情報なし

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策：	全体換気または局所排気装置を設置する。

JX日鉱日石エネルギー株式会社

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 45599-1022E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ガスヒーポンクーラント

許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH		
	管理濃度	許容濃度	TLV-C	TLV-STEL	TLV-TWA
エチレングリコール	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 100mg/m3(Ethylene Glycol)	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3
安息香酸ナトリウム	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3
水	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3	未設定 ppm, 未設定mg/m3

保護具

呼吸用保護具： 通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。
手の保護具： 長期又は繰り返し接触する場合は耐油性のものを着用する。
眼の保護具： 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具： 長期間にわたり取扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

９．物理的及び化学的性質

製品

外観　物理的状態： 液体
　　形状： 液体
　　色： 緑色
臭い： 僅かな臭気
融点・凝固点： 流動点　データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲： 初留点166(℃)
引火点： 132(℃)クリーブランド開放式
燃焼の又は爆発範囲： データなし
蒸気密度： データなし
密度(g/cm3)： 1.13(15℃)
溶解度： 水：易溶
n-オクタノール／水分配係数： データなし
分解温度： データなし

１０．安定性及び反応性

化学的反応性、化学的安定性： 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性： 強酸化剤、強塩基と反応する。

JX日鉱日石エネルギー株式会社

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 45599-1022E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ガスヒーポンクーラント

避けるべき条件： 混触危険物質との接触。
混触危険物質： 酸、酸化性化合物
危険有害な分解生成物： 燃焼により刺激性または有毒なガス(一酸化炭素)を発生する。

１１．有害性情報

製品

急性毒性（経口）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（経皮）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（吸入）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
呼吸器感作性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚感作性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖細胞変異原性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
発がん性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖毒性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、単回ばく露：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、反復ばく露：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
吸引性呼吸器有害性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。

１２．環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性（魚類）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
慢性毒性（魚類）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
残留性・分解性：	現在のところ有用な情報なし。
生体蓄積性：	現在のところ有用な情報なし。
土壌中の移動性：	現在のところ有用な情報なし。

１３．廃棄上の注意

廃棄方法： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。

JX日鉱日石エネルギー株式会社

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 45599-1022E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ガスヒーポンクーラント

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

１４．輸送上の注意

IMDG分類　国連分類：	非該当
国内規制：	下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。 陸上輸送　消防法　危険物 第4類 第3石油類 水溶性 危険等級Ⅲ 海上輸送　船舶安全法　非危険物（個別運送及びバラ積み運送に於いて） 航空輸送　航空法　非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件：	運送容器及び包装の外部に、品名、数量、危険等級及び「火気厳禁」の表示をする。 容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。 指定数量以上を車両で運搬する場合は、総務省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げ、消火設備を備える。運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。 第1類及び第6類の危険物及び高圧ガスとを混載しない。

１５．適用法令

消防法：	危険物・第４類引火性液体・第３石油類水溶性液体 ， 危険等級Ⅲ危険物
安衛法：	名称等を通知すべき有害物
海洋汚染防止法：	有害液体物質Y類物質
廃掃法：	産業廃棄物規則

１６．その他の情報

参考文献等：

日本規格協会(JIS) JIS Z 7250：2005 「化学物質等安全データシート（MSDS）」
同上 JIS Z 7251：:2006 「GHSに基づく化学物質等の表示」
″独立行政法人 製品評価技術基盤機構 有害評価報告書
GHS 分類web 公開データ″
産業中毒便覧 （医歯薬出版株式会社）
化学物質の危険・有害便覧［中央労働災害防止協会編］
溶剤便覧
中毒ハンドブック ： 廣川書店
緊急時応急措置指針[改訂第2版]
オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版［オートケミカル工業会:JACA 編
中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

免責文：

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者に提供されるものです。
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。